令和８年度　廃棄物対策部会　議事概要

（開催要領）

１　開催日時：令和８年１０月１日（木）１４：２０～１４：５０

２　場　　所：ピュアリティまきび　白鳥

３　出 席 者：

○委員（五十音順、敬称略）

阿部宏史、池口主弥、内藤はま子、藤原園子、藤原健史

／計５名

○事務局（県）

循環型社会推進課長、事務局職員

議　　題	１　部会長の選出 ２　副部会長の指名 ３　循環型社会推進課業務について ４　第６次岡山県廃棄物処理計画の策定について
会議資料	別添資料のとおり
議事概要 -委員意見等- **委員**	**【議題１】**部会長の選出 互選により、部会長に阿部委員が選出された。 **【議題２】**副部会長の指名 部会長から、副部会長として藤原園子委員が指名された。 **【議題３】**循環型社会推進課業務について 事務局から資料に基づき説明した。 **【議題４】**第６次岡山県廃棄物処理計画の策定について 事務局から資料に基づき説明した。 **○産業廃棄物排出量の要因把握と業種別分析** **排出量増加の要因について、県内の経済・産業の発展との相関（産業振興に伴う増加か、景気に関わらず増加しているのか等）を把握する必要がある。** **産業種別ごとの増加・減少傾向を詳細に調査した上で、実効性のある対策を講じるべきである。** **○食品ロスの発生抑制と有機資源の循環利用** **発生源での抑制に加え、発生してしまった食品ロス等の有機廃棄物について、飼料化や堆肥化、メタン発酵などのエネルギー化や農業資材への循環（リサイクル）などを進めることが重要である。**

	○地域特性等を踏まえた広域化計画の検討 　他県での成功事例等も踏まえ、広域化が上手くいかなかった要因や課題を精査・分析すべきである。 　真庭市の先進的な取り組みなども参考に、必ずしも大型焼却炉（100 トン以上）に依存するのではなく、食品メタン発酵やし尿・汚泥の有効利用など、地域の実情や特性に合わせた計画となるよう検討されたい。
事務局	計画素案の作成にあたっては、いただいたご意見も踏えながら検討してまいりたい。